

PROJECT REPORT たくさんの「まちなかチャレンジ」が実現!

「まちなかチャレンジ」 試行・実証実験「水戸まちなかりビング作戦」実施期間中、有志による様々な「まちなかチャレンジ」が実施されました。

Leaf Tea Cup Stand



茶舗牧ノ原の新商品「Leaf Tea Cup」をテストマーケティングも兼ねて販売。お湯を注ぐだけで手軽に日本茶を味わえることや持ち運びのしやすさもあり、カップを片手にまち歩きする姿も見られました。

南町タウクルーズ



まちなかの歴史やグルメ、人に関するガイド付きのまち歩きを実施。手作りの紙芝居式のガイドにより楽しくまちなかを知る機会を提供しました。2日間の実施でしたが60名近い方が参加しました。

まちなかの「小さな森」



LIVING PARKに森林を感じられる様々なコンテンツを用意し、まちなかに「小さな森」を生み出しました。天気にも恵まれ、子連れの方を中心にたくさんの人が森の資源やワークショップを楽しんでいました。

まちなかあそび場づくり



LIVING PARKに茨大生が自作したスマートボールや輪投げといった遊び道具を設置し、どのような利用が見られるのか検証を目的に実施。置いてあるだけでも自発的に遊ぶ子どもが多くいることが分かりました。

水戸原理主義的歴史浪漫を語る会



悲観的に語られがちな水戸の幕末維新史について、もっと水戸本位にポジティブにロマンをもって語り合う会を開催。延べ27名の方が参加し、参加者からは継続のリクエストも多くありました。

シェアする屋台withこっしー



廃材をリメイクして作り上げた移動式の屋台で実験エリアを練り歩きながら、まちの人と今回の取り組みを繋げるアテンド企画を実施。まちの人の声を聞いて歩いたほか、Leaf Tea Cupの販売も行いました。

そらカフェ



見晴らしのいいROOFTOP PARKで時間によって移り変わる空の様子をテーマにしたドリンクをメイン商品としたカフェを実施。茨大生を中心に商品開発から挑戦し、会場の魅力も相まって多くの人を魅了しました。

まちなかのバリアを考える



まちなかで電動車椅子「Whil」の試乗会を開催。電動車椅子の視点でまちなかを巡ることで普段はあまり気にしない、段差や凹凸、傾斜、道路の幅などのまちなかに潜む「バリア」を感じる機会となりました。

市営ドッグラン



まちなかの愛犬家の居場所作りとして、道路沿いの緑地帯を活用したドッグランを開設。普通のドッグランにはない高低差のある地形が人気を博し、常連の利用者が生まれるなど新たな居場所となりました。

「第2回水戸まちなかデザジンシンポジウム」開催決定!

水戸のまちなか再生に向けたデザインシンポジウムの第二弾。昨年秋に実施された試行・実証実験「水戸まちなかりビング作戦」の報告と検証結果、そして今後の展望を探ります。オンラインにて開催、参加無料。どなたでもご参加いただけます。

3/6日 2022 13:30~15:30 オンライン開催 参加無料 Zoomウェビナー+YouTube live配信



CONTENTS 「水戸まちなかりビング作戦」の試行・実証実験報告
トークセッション①【実証実験裏話】
「水戸まちなかりビング作戦」に実際に参加した関係者5名による座談会
トークセッション②【今後の展望】
実施エリアの商店会、町内会、そして行政による座談会
持続的なかわり方やビジョンの妥当性と今後の展望を話し合います

2022.1.31 Vol.07 発行・水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会事務局(株式会社まちなかトラボ) 水戸市南町1-2-32 M-WORKビル Tel.029-388-1580 編集:同協議会 魅力発信・デザイン検討委員会、TRIX MAG.編集部

まちみどラボが提案する水戸のキュレート・ポータルサイト 「TRIX MAG [トリックスマガジン]」

「TRIX MAG [トリックスマガジン]」では、まちなかで活動する各分野のキーマンのコラムやMapiNavi [マピナビ] 編集部による特集記事を中心に、ピックアップイベントの紹介、今日明日・週末のイベントがピンポイントで検索できるイベントサーチ、バイリンガルの水戸の観光案内情報など様々なコンテンツをご用意しています。ぜひ、ブックマークしてみてください。イベント情報もぜひお寄せください。

タイアップ記事広告、バナー広告スポンサー募集中! / 掲載イベント受付中! http://trix-mag.com/?page_id=325

<http://www.trix-mag.com>

スマホ対応!

ブックマークをお願いします!



水戸のまちをもっと楽しむ

水戸のまちのIMAがわかるフリーペーパー



TRIX MAG paper

MEDIA MIX FREEPAPER

<http://www.trix-mag.com>

VOL 07 2022 SPRING

TRIX MAG. paper はウェブサイトTRIX MAG. [トリックス マガジン]と連動して不定期発行するフリーペーパー。TRI=3、X=10 で310=水戸を表し、水戸芸術館でもタワーのモチーフになっている10個の三角形をあしらっています。アートや音楽、演劇、映画、ライフスタイルのカルチャーコラムを中心に、水戸のまちなかで行なわれる催しの情報を発信していきます。



Photograph: Graphy Inc. 新井達也

水戸まちなかデザイン会議に参加してみませんか 水戸まちなかの再生に向けた共感の輪が広がり続けています

2021年5月、未来ビジョン素案に共感する人々による「水戸まちなかデザイン会議」が4つの行動指針(【OPEN】未来ビジョン素案に共感する誰もが参加できること【FRIENDLY】友好的であること【POSITIVE】前向きであること【OWN THINGS】自分ゴトで考え行動すること)を掲げてスタートしました。今年度の「水戸まちなかデザイン会議」の目的は、水戸まちなかの再生に向けた仲間づくりと未来ビジョン素案のブラッシュアップ。12月までに計11回開催し、約150名、18歳から68歳まで老若男女を問わず、またオンライン併用開催により東京など県外にいる水戸出身者の参加も実現しています。毎回新たな参加者がいるのが特徴的であり、取り組みへの共感の輪が広がり続けています。また、参加者間の交流やそれによる新たなコラボレーションの実現など、早くもオープンプラットフォームとしての機能を発揮し始めています。

10月に実施した試行・実証実験「水戸まちなかりビング作戦」はデザイン会議メンバーによる検討・会場づくりのワークショップにより実現したものです。考えるだけでなく、行動に移し、水戸まちなかの再生に向けて各自ができる範囲で自分ゴトとして携わっています。さらには実験に合わせてデザイン会議メンバー自身が主体となる自主企画「まちなかチャレンジ」も展開。企画の成果はデザイン会議にフィードバックし、ビジョン素案で示す「挑戦心を育む」まちなかづくりにむけた実験のひとつになりました。TRIX MAG本号ではこれまでの「水戸まちなかデザイン会議」の経過とビジョンをブラッシュアップするために実施した「水戸まちなかりビング作戦」についてご紹介します。

水戸のまちなかの再生に向けて自分ゴトとして考えて出来ることを行動する

水戸まちなかデザイン会議

OPEN ビジョンに共感する全ての人々が参加できます
FRIENDLY 友好的であることを大切にします
POSITIVE 前向きであることを大切にします
OWN THINGS 自分ゴトで考え行動することを大切にします

参加者募集!

PROJECT REPORT みんなでつくりあげた「水戸まちなかりビング作戦」—デザイン会議による共創プロセス

「水戸まちなかデザイン会議」の振り返り

第1回 2021.5.22

現地参加者 37名 オンライン参加者 19名

初回にもかかわらず高校生・大学生から不動産オーナー、行政職員まで多彩なメンバーが集まりました。デザイン会議の目的や理念を共有し、水戸まちなかの再生を目指す仲間とともに歩み始めます。



第2回 2021.6.6

現地参加者 30名 オンライン参加者 9名

グループに分かれてまち歩きを実施！実験に向けて「今ある屋外空間を少し整えて使ってみる」という視点で空間活用に向けた改善方法を検討しました。



第3回 2021.6.25

オンライン参加者 33名

ゲストに建築家の西田司さんを招いて都市空間の活用や実証実験に関する勉強会を実施！小さい取り組みを反復し、修正しながら長期的に大きなアクションにしていく「タクティカルアーバンイズム」の考え方を教えていただきました！



第4回 2021.7.10

現地参加者 40名 オンライン参加者 5名

6月のデザイン会議を踏まえて検討した試行・実証実験の計画案を共有。実験候補地を見て回り、沿道のビルオーナーである杉浦さんと畑山さんからは各自の取り組みをご紹介いただきました。



第5回 2021.7.28

オンライン参加者 30名

ゲストに墨田区役所職員の戸梶さんを招いて、自身が実践した公共空間マネジメントに関する勉強会を実施！行政職員自らが公共空間を活用する「そよ風会議」などの経験談をもとに、行政がコンセルジュ的に動くことで公共空間の活用が促進できることを教えていただきました。



第6回 2021.8.22

オンライン参加者 53名

ロゴや配色などを定めたデザインガイドラインやブラッシュアップした実験計画案を共有。デザイン会議メンバーによる空間活用案（まちなかチャレンジ）のプレゼン大会では、14件の提案がありました！



第7回 2021.9.12

現地参加者 37名

10月の実験に向けて会場づくりのワークショップを実施。西洋倶楽部ビルの床とテーブルをキレイに磨いたり、ドッグラン予定地の空地の除草作業をしたり、周辺一帯のゴミ拾いをしたりとみんなでまちなかをキレイにしました！



第8回 2021.9.19

現地参加者 23名

第7回に続き西洋倶楽部ビルの清掃を行い、キレイな空間へと仕上げました！テーブルにはニス塗装を施し、見違えるほどキレイになりました。



2021.9.21

白線の引き替え工事を実施！65cmしかなく場所によっては電柱で行き止まりになってしまう歩行者空間を1m35cmに拡張するよう白線を引き替えました！（水戸市による本設工事）



第9回 2021.10.3

現地参加者 27名

実験会場づくりのワークショップ第3弾としてAT-WORKビル屋上と南町2丁目裏通りの壁面などを清掃しました。10月とは思えないくらいの陽気で皆さん汗をかきながらの作業でした。



2021.10.5

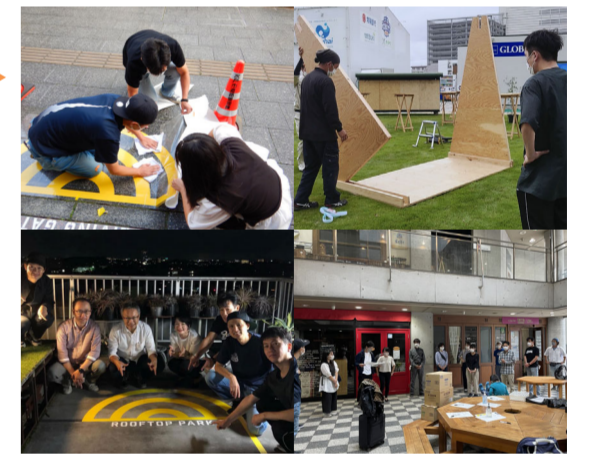
歩行者の誘導と車両の減速効果を狙った路面サインを設置！また通行量観測用のカメラの設置や実験会場の電気工事などを実施しました。



第10回 2021.10.9

現地参加者 22名

実験会場づくりの最終仕上げ！みんなで協力してエリア内の各会場を仕上げていきました。一日がかりの作業になりましたが無事に会場を完成させることが出来ました！



「水戸まちなかりビング作戦」 2021.10.9～31

今回の実験は未来ビジョン素案の妥当性を検証し、実験結果をフィードバックすることで未来ビジョンを完成させることが目的です。水戸のまちなかで人中心の歩きとなるまちなかづくり、快適な屋外空間づくりは需要があるのかどうか、またそういった空間形成において利用者との協働や「水戸まちなかデザイン会議」のような市民参画型のプロセスは適しているのかどうか、この2点が大きな検証ポイントです。また、来年度以降に実施していく社会実験に備えたシミュレーションといった側面もあり、検証方法については様々な手法を取り入れて効果的な手法を探ったり、空間を活用した各個人の自主提案企画である「まちなかチャレンジ」を展開する過程で、挑戦心を育むまちなかづくりに向けた支援施策やサポート体制、企画実施のガイドラインを検討したりといった検証も行いました。

潜在空間

A

遊びある大通りに、路面サイン設置により車通りへのつながりを演出するほか、フラッグによる一体感の演出や緑化による景観所作りを施しました。

MAIN STREET

C

日々の散歩を快適に、まちなかに暮らす飼い主さんと愛犬のために、空き地をドッグランとして無料開放しました。

DOG LIVING

B

使いやすい自由広場に、植物やベンチ、スタンディングテーブルなどを設置することで使いやすいブロッコスペースに整えました。

LIVING PARK

D

水戸らしい絶景を望む特別な場所、ビルオーナー様全協力のもと、緑に囲まれた屋上空間を無料開放。インスタ映えする空間に！

ROOFTOP PARK

MAP

E

快適な半屋外ワークスペースに、まちなかデザイン会議メンバーで大掃除を実施。床のタイルや中央のテーブルは美しく生まれ変わりました。

WORK LOUNGE

F

道を活かした抜け道に、通りにくかった通路を、そのスタイブな特徴をプラスに足して、光と音のデザインにより楽しめる通路を整えました。

LIVING PASSAGE

G

そこを抜ければ、アツらしい裏通りへ、ビルオーナー様全協力のもと、誘導サインで裏通り路にご案内。CO-LIVING「こもれび」(2F)、ツリ「ハウス」(3F)がプレオープンしました。

LIVING GATE

H

水戸まちなかの再生に向けて、駐車場わきの余剰空間を、実実験の趣旨やその土台となる未来ビジョン事業について紹介する展示スペースを潜在スペースに変身させました。

INFORMATION